

令和4年度 東京の林業振興に向けた専門懇談会（第1回）

次第

日 時 : 令和4年8月22日（月）
16時00分～17時30分
場 所 : 都庁第一本庁舎7階中会議室

1 開会

2 知事挨拶

3 出席者紹介

4 第一部

（1）基調講演

「木造建築と森林」

建築家、東京大学特別教授・名誉教授 隈研吾氏

5 第二部

（1）議事

議題 東京の林業振興に向けた意見交換

（2）その他

6 閉会

東京の林業振興に向けた専門懇談会 専門家等名簿

氏名	現職等
青木 亮輔	株式会社東京チェーンソーズ 代表取締役
内海 彩	株式会社内海彩建築設計事務所 代表取締役
酒井 秀夫	一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会 会長
鈴木 敦子	認定NPO法人環境リレーションズ研究所 理事長
羽生 岳史	塔婆 護摩札 製造販売元 八代目 羽生文右衛門

(五十音順、敬称略)

基調講演者

氏名	略歴
隈 研吾	1954年生。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。30を超える国々でプロジェクトが進行中。自然と技術と人間の新しい関係を切り開く建築を提案。主な著書に『点・線・面』（岩波書店）、『ひとの住処』（新潮新書）、『負ける建築』（岩波書店）、『自然な建築』、『小さな建築』（岩波新書）、他多数。

東京の林業振興に向けた専門懇談会（第1回）開会～第一部座席表

令和4年8月22日（月）16時00分～17時30分
東京都庁第一本庁舎7階 中会議室

入口

隈 研吾氏



小池 百合子
知事



青木 亮輔
委員



ディスプレイ



羽生 岳史
委員



鈴木 敦子
委員



酒井 秀夫
委員

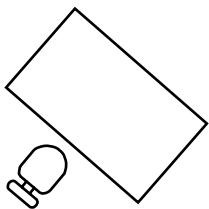


内海 彩
委員

ネット
中継

プレス位置

マイクロ
ディスプレイ

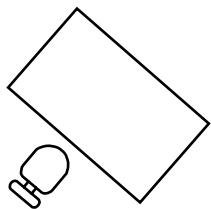
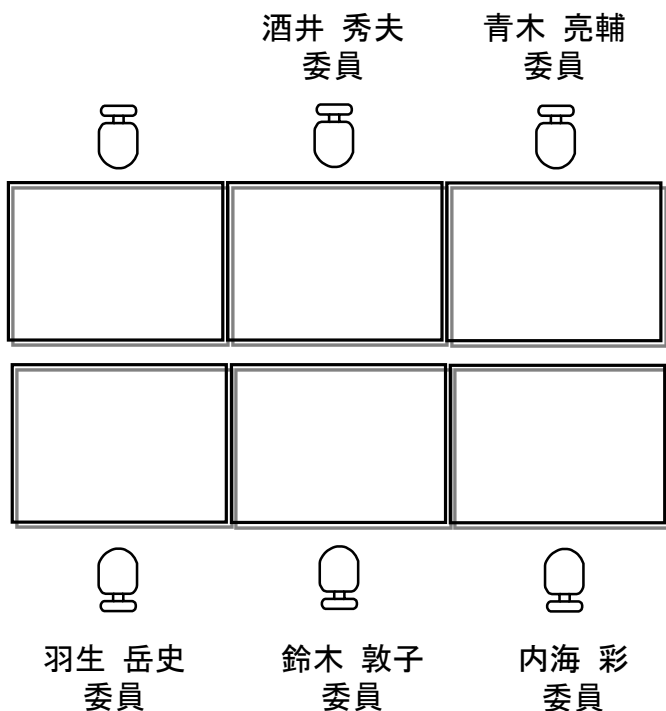



東京の林業振興に向けた専門懇談会（第1回） 第二部～閉会座席表

令和4年8月22日（月）16時00分～17時30分
東京都庁第一本庁舎7階 中会議室

入口

ディスプレイ





東京の林業振興に向けた 専門懇談会 (第1回)

準備会における意見概要①

分野	主な内容
森林整備	<p>➤ 既に取り組んでいる事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 森林整備等に関する優良事例を周知2. 伐採搬出に係る経費を自治体や企業が負担3. 企業による森林整備
	<p>➤ 取組にむけて検討が必要な事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 広葉樹植栽や企業提案型等主伐事業の拡充2. 密度管理によるシカ対策の推進3. 中小企業等が脱炭素に貢献できる仕組の構築4. 森林を木材以外の価値で考える必要5. 森林所有者が安心して山を持てる仕組が必要

準備会における意見概要②

分野	主な内容
環境 譲与税	<p>➤ 取組に向けて検討が必要な事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 山側と都市部とでの森林整備の協定等2. 苗木生産において環境譲与税を活用3. 山側の裁量が増えるよう法を改正4. 環境譲与税の利用方法等活発な議論が必要

準備会における意見概要③

分野	主な内容
労働力	<p>➤ 既に取り組んでいる事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 経営基盤の強化支援2. 就業希望者への相談窓口設置3. 架線研修の実施4. 特殊伐採などの高度技術者育成
	<p>➤ 取組に向けて検討が必要な事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 架線技術者をより増やす工夫2. 短時間でも勤務できる仕事や環境の創設3. 安定的な仕事量確保の仕組構築4. 森林所有者が山を持つ意義は、雇用の場の提供

準備会における意見概要④

分野	主な内容
林業機械	<p>➤ 既に取り組んでいる事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 林業機械リース、レンタル時の補助2. 都で購入した林業機械の有効活用3. 都に合う架線集材方法の検討4. 林業機械の研修実施
	<p>➤ 取組に向けて検討が必要な事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 林業機械活用事例の提供2. 機械化の推進には安定的な事業確保が必要

準備会における意見概要⑤

分野	主な内容
木材加工 ・流通	<p>➤ 既に取り組んでいる事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 製材、流通への設備投資
	<p>➤ 取組に向けて検討が必要な事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 将来的に大径木製材によるA材市場を形成2. 製材保管庫、保管費用の補助3. マーケットインの林業にする必要4. 川上から川下までの情報共有5. 木材や流通に興味を持つ方を増やす取組6. JAS材の推進

準備会における意見概要⑥

分野	主な内容
木材利用	<p>➤ 既に取り組んでいる事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 木材利用の意義のPR2. 多摩産材を優先利用する枠組み3. 都による多摩産材の率先利用
	<p>➤ 取組に向けて検討が必要な事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 木材利用の意義のPR（再掲）2. 多摩産材を優先利用する枠組み（再掲）3. 発注方法の工夫による公共施設での木材利用